

### 1 子どもの思いの連続

4月、青田川を訪れた子どもは、青田川沿いの芝生のスペースで友だちと遊んだり、川に入って生き物を探したり、川遊びをしたりしながら、青田川への関心を高め、愛着を深めていった。子どもは、川に棲む生き物を捕まえて育てたいと願い、ワナを作ったり、道具を持参したりして捕まえるための工夫を行う姿が見られた。また、イカダを作って乗ったり、川で泳いだりと様々な遊びを行っており、活動の種類を増やしている。

5月7日、くびき里山学校の方をお迎えして、生き物の捕まえ方についてお話を聞いた。これまで、子どもは、闇雲に生き物を捕まえようとしてきたが、坂田さんの話を聞いて、生き物の生態に合わせて、捕まえる時間、場所、方法を調べることの大切さに気付いた。5月10日に坂田さんとの2回目の活動の際には、魚やザリガニ、カニなどの生き物を捕まえることができ、大きな喜びと坂田さんのアドバイスの的確さを強く感じた。今後も、もっと多くの生き物を捕まえたいという思いを膨らませた。また、同じ場所で繰り返し活動を行ってきた中で、青田川の他の場所で活動をしたいという願いをもった。他の場所にはどんな生き物がいるのかに関心を寄せ、多くの種類の生き物を捕まえたいと願っている。

### 2 「川しるべ」のこれから

子どもは、川遊びをしたり、生き物を捕まえたりする中で、今までの遊びをつくり変えて、新たな遊びを作り出したり、違う種類の生き物や大きな生き物を捕まえるために生態を調べたりする姿が見られる。また、川の中での活動だけでなく、川辺の植物を採集するなど、活動をひろげている子どももいる。子どもは、今まで行ってきた活動をつくり変えながら、川の見方をひろげていくだろう。

### 3 本時のねらい（本時における自分をつくり未来を拓く子どもの姿）

今まで青田川で行ってきた活動を思い起こすことを通して、その活動の魅力や面白さを考え再確認したり、これからどんな活動を行いたいかを考えたりしながら、青田川のとらえを深める。

### 4 本時の構想

#### ○ 今までの活動の魅力や面白さを考え、活動をつくる

子どもは、自分つくる活動を楽しんできた。そして、遊び方や生き物の捕まえ方を変えたり、新たな活動に挑戦したりと、川での活動をつくり変える姿が見られた。子どもが行っている活動の魅力や面白さを考えることで、自分にとっての魅力や面白さを再確認したり、新たな活動を生み出したりし、青田川のとらえを深める。

### 5 本時の展開

58・59M/全251M (65分)

時間	番号；子どもの活動 ・；子どもの姿	○；教師の手立て
5	1 今までの活動について振り返る ・ 生き物を捕まえてきた。 ・ 川辺の植物を見つけて、花を摘んで押し花をつくった。 ・ 泳いだり、イカダを作ったりした。 ・ ゴミを拾って、川をきれいにした。	○ 今まで行ってきた活動は何かと投げかけ、思い起こさせる。
10	2 今までの活動の魅力や面白さについて考える ・ 生き物を捕まえることができると喜びがある。 ・ 花はきれいだし、押し花にするとずっと残せる。 ・ プカプカ浮いたり、流されたりすると楽しい。 ・ 川がきれいになると生き物も棲みやすいし、自分も嬉しい。	○ 魅力、面白さを話しづらければ、その活動を行ってきた理由を話すように促す。 ○ そのときの様子や気持ちなども話させ、魅力や面白さが言葉だけでなく、表情や身振りからも伝わるようにする。
35	3 自分のやりたいことに取り組む ・ 生き物の世話をしたり、捕まえ方を調べたりする。 ・ ワナやイカダを作ったりする。 ・ 押し花をしたり、川辺の植物を調べたりする。	○ iPad、図鑑などを使えるように準備をしておく。
15	4 作文シートに活動で感じたことを書く ・ 活動して考えたこと、感じたこと、次の活動への期待などを書く。	○ 今日の感想、これからへの期待を書くように伝える。